

令和6年8月 国道246号 伊勢原市善波地区で発生した法面崩落概要



国土交通省関東地方整備局
横浜国道事務所
Yokohama National Highway Office

○令和6年8月30日7時6分頃、台風10号に伴う豪雨により国道246号新善波トンネルの厚木側坑口付近の法面が崩落し、神奈川県伊勢原市桜坂交差点～秦野市名古木（ながぬき）交差点間を約10日間の通行止めで応急復旧を行い、9月9日(月)6:00に**対面交通で交通開放**しました

○引き続き、本復旧に向けて鋭意工事を進めてまいります

<経緯>

■令和6年8月30日(金)

- 7時6分頃台風10号に伴う豪雨により、
国道246号新善波トンネル厚木側坑口付近の法面が崩落
※車両2台が巻き込まれるが負傷者は無し

■令和6年8月31日(土)

- 学識者による現地調査
- 並行する東名・新東名高速道路の代替路（無料通行）措置

■令和6年9月2日(月)

- 第1回 国道246号伊勢原市善波地区法面崩落対策検討委員会
→応急復旧方針決定

- 第1回 国道246号等災害マネジメント検討会

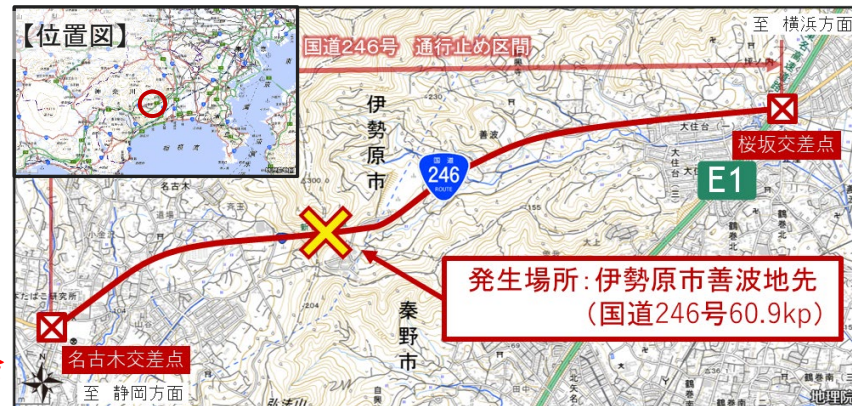
- 第1回 国道246号伊勢原市善波地区法面崩落連絡調整会議

■令和6年9月9日(月)

- 6時00分～ 通行止解除（対面通行）

- 迂回のための高速道路（東名・新東名）無料通行措置を終了

■平面図



【被災規模】

- ・道路全面に土砂流入（道路幅10m）
- ・流入土砂の規模 約1,000m³

【伊勢原市の降水量】

- ・378mm(8月29日7時～8月30日7時)



発災直後



無人化施工による土砂撤去作業



災害対策本部車



応急復旧完了前